

平成 19 年 2 月 2 日

定期検査中の 1 号機における原子炉自動スクラム（B 系）警報の
発生および調査結果について

1 号機は定期検査中ですが、平成 19 年 2 月 1 日午前 11 時 38 分、「原子炉自動スクラム（B 系）*¹」の警報が発生いたしました。当該警報は、原子炉圧力に関連する信号（「原子炉圧力高」）にともない発生したものです。

調査の結果、原子炉保護系*²の計器点検の準備作業として、ジャンパー線*³をジャンパー線受け台に取り付けた際、端子部に接続されていたケーブルがゆるんで接触不良となり、一時的に電気回路が切れて、当該警報が発生したことがわかりました。

接触不良の原因は、当該ケーブルがケーブル端部の金具（ドーナツ状）にねじを通さないで当該端子部に取り付けられていたため、ジャンパー線取り付け作業の繰り返しにより、ケーブルがゆるんで発生したものと推定いたしました。

なお、ケーブルの取り付け不良が発生した時期は、平成 5 年に実施した制御盤の取り替え後と考えられますが、特定には至りませんでした。

対策として、当該端子部については、ケーブル端部の金具にねじを通して適切に取り付けを行いました。今後、毎定期検査時にケーブルの取り付け不良がないことを確認いたします。

なお、中央操作室内のジャンパー線受け台が取り付けである端子部の点検を行った結果、1 号機で 1 箇所、2 号機で 2 箇所取り付け不良が確認されたことから、適切に取り付けを行いました。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 原子炉自動スクラム（B 系）

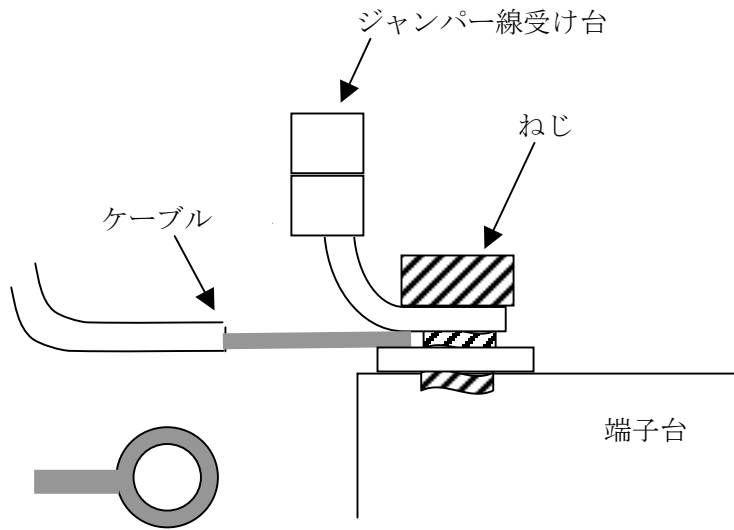
原子炉を緊急停止するための信号が片系統だけ発生した状態であり、制御棒は動作しない。スクラム信号は A・B 両系が同時に発生することで制御棒を全挿入し、原子炉を緊急停止させる。

* 2 原子炉保護系

原子炉の安全性を損なうおそれのある事象が生じた場合、あるいは予想される場合、原子炉をすみやかに緊急停止（スクラム）させる装置。

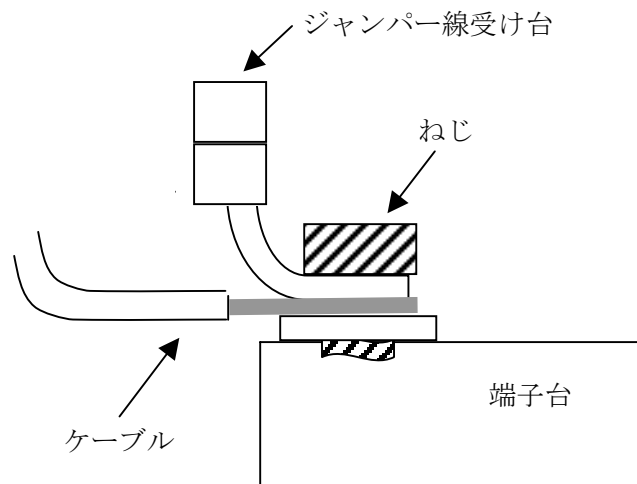
* 3 ジャンパー線

電気回路の端子間を一時的につなぐ線。



ケーブル端部の形状

当該端子部の状態（事象発生前）



適切な取り付け状態

ケーブル取り付け状況概略図